



# 月

# 新着おすすめ本

今月は、福井について学ぼう！



カニと恐竜だけ  
じゃないぞー！

日本の特別地域特別編集 65  
(地域批評シリーズ)

## 『これでいいのか福井県』

岡島 慎二 著

(マイクロマガジン社)



K291.44

K0

### 内容

正直驚いた。というか意外だった。某民間調査会社が発表した 2014 年の各都道府県の魅力度ランキングで福井県は 45 位。ワースト 3 入りである。ところがよく調べてみると、下位は北関東 3 県(茨城・栃木・群馬)や埼玉、佐賀など何かと揶揄される県ばかりで、福井も実は下位の常連県のひとつ。悲しいかな、福井はそんなことも知られていないほど超マイナー県なのだ。「…中略…」本書では、地元視点ではわからない本当の福井人気質を探りつつ、嶺北・嶺南という「ふたつの福井」の現状と問題点にズバッと切り込んだ。「幸福な独立国家・福井」。その本質と進むべき将来をこれから探っていこう。

(「Amazon.co.jp」より)



(平凡社新書)

## 『和食は福井にあり』

鯖街道からコシヒカリまで』

向笠 千恵子 著

(平凡社)

K383.8

MU

### 内容

自然や地形が変化に富む福井は、日本の縮図のような県。ここには日本の食文化も凝縮されている。鯖街道や北前船の伝統、越前がにや地方野菜などの豊かな海と山の幸、そして脈々と受け継がれる郷土料理と地産地消。この一冊で、和食の原点息づく“福井”を味わい尽くす！

(「BOOK」データベースより)

(じっぴコンパクト新書)

## 『福井「地理・地名・地図」の謎』

意外と知らない福井県の歴史を読み解く！』

実業之日本社 編

(実業之日本社)

### 内容

水月湖の年縞は歴史を測るものさし！高水準な暮らしを生み出す豊饒さとは？地理や地名・地図から見えてくる越前の誇り。福井の意外な歴史が語る商才と奥ゆかしさ。知られざる福井を再発見する知的ガイド。

(「BOOK」データベースより)



K291.44

HU



## 『新版 高野山の精進料理』

高野山真言宗総本山金剛峯寺 監修  
(学研パブリッシング)

596.211

KO

世界遺産「和食」の心を凝縮!その他、阿字観や写経、見どころガイド、宿坊リストなど知りたい情報も満載。きっと高野山へ行きたくなる!

(「BOOK」データベースより)

## 『天皇陛下料理番の和のレシピ』

谷部 金次郎 著  
(幻冬舎)

著者はTBSドラマ「天皇の料理番」でも話題の秋山徳蔵氏の弟子である、谷部金次郎氏です。

自身も天皇家の台所で天皇皇后両陛下のお食事を26年間お作りし、陛下の健康と長寿を支えました。

「陛下はどんなものを召し上がっているの?」

「お毒見役はいるの?」などの疑問に答える、知られざる宮中生活にまつわるコラムも満載です。

(「Amazon.co.jp」より)



596.21

YA

## 『フランスのお菓子めぐり 子どもが夢みるプチガトー』

マリー・ル=ゴアズィウ 著  
(グラフィック社)



596.65

FR

本書で取り上げているのは、地方に伝わる伝統菓子から、昔ながらのおやつ、スーパーでもおなじみのボンボンやビスケットまで、フランスの日常を彩るお菓子たち。52のテーマを季節ごとに分け、それぞれのテーマを、レシピだけでなく由来や逸話、情報などのコラムでていねいに紹介しています。

(「BOOK」データベースより)

## 『東京パフェ学』

斧屋 著  
(文化出版局)



596.65

ON

話題のパフェ評論家、斧屋による渾身のパフェ案内!!パフェは究極のエンターテインメント。その魅力に迫る!!

(「BOOK」データベースより)

## 『ポジティブ心理学の挑戦』

“幸福”から“持続的的幸福”へ』

マーティン・セリグマン 著  
(ディスカヴァー・トゥエンティワン)



140

SE

## 『フラット・カルチャー』

—現代日本の社会学』

遠藤 知巳 編  
(せりか書房)



302.1

HU

## 『みんなバーに帰る』

パトリック・デウィット 著  
(東京創元社)



933.7

DE